

「近畿圏の目指す姿(070829 案)」作成の観点

○「近畿圏の目指す姿(070829 案)」は、第2回検討会議で配付した資料2「主要な視点」、第2回検討会議での委員からの意見及び検討会議構成機関からの意見をもとに作成しました。

○特に、目指す姿の集約の考え方は次のとおり。

- ◆「1. 歴史文化」と「11. 観光」は関連が深く、集約する。
- ◆「3. 産業拠点」、「4. 交流拠点」、及び「12. 物流」は関連が深く、集約するとともに、「12. 物流」は目指す姿を実現するための戦略として整理する。
- ◆「6. 都市と自然」、「7. 都市・地域の再生」、「8. 農山漁村」及び「9. 福祉」はそれぞれ関連が深く、「都市・地域」と「暮らし」の観点で再編するとともに、個々の内容については個別に判断して必要により目指す姿を実現するための戦略として整理する。
- ◆「8. 農山漁村」に関しては、その多面的機能を勘案し、「都市・地域」に関する目指す姿として記述するほか、その他の目指す姿を実現するための戦略として複数箇所において言及する。
- ◆「13. 役割分担」に関しては、目指す姿を実現するための戦略(またはそれ以外の項目)として整理する。

集約化の傾向

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	タイトル
1		1	3	2	1	1	1	1	1	0	3	1	1	歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み出す地域
2			1	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核
3				6	2	0	0	1	0	1	3	5	0	我が国をリードする世界に冠たる産業拠点
4					0	1	0	0	0	0	3	7	0	国内外の創造的な人材が行き交う交流拠点
5						3	3	2	2	2	0	1	0	人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進地域
6							2	4	0	0	2	2	0	都市と自然の魅力を日常的に享受できる地域
7								4	4	1	0	1	2	各種機能の分散施策からの転換による都市・地域の再生
8									1	1	2	3	2	農山漁村の適正な維持と高付加価値型農業の展開
9										3	0	0	2	人々が自律して暮らせる高福祉地域
10											2	1	1	産業・暮らしを支える災害に強い安心・安全づくり
11												4	0	我が国の顔となる文化を核とした観光地域づくり
12													0	アジア・世界規模の国際分業を支える複合物流体系づくり
13														都市・地域間の広域的な役割分担や「新たな公」による地域づくり